

# 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果【下野市の概要】

令和7年3月

下野市教育委員会

【表記について】

・本資料において、小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含む。また、小学校1～6年と義務教育学校前期課程1～6年、中学校1～3年と義務教育学校後期課程7～9年は同義となる。

## 1 令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

- ◇参加校 下野市立小・義務教育学校前期課程（第5学年）  
中・義務教育学校後期課程（第2学年・第8学年）（全校参加）
- ◇実施時期 令和6年4月～7月
- ◇体力テスト種目
  - ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20 mシャトルラン ⑥50 m走
  - ⑦立ち幅とび ⑧ボール投げ(小学校-ソフトボール、中学校-ハンドボール)
- ◇体格調査項目
  - ①身長 ②体重
- ◇運動習慣等調査質問内容
  - ①「運動が好き」 ②「運動は大切」 ③「(保健) 体育の授業は楽しい」
  - ④「(保健) 体育の授業への参加」 ⑤「朝食を食べる」等

## 2 体力・運動能力結果について

### (1) 全国平均との比較から見る令和6年度の調査結果（全体比較）

#### 下野市と全国平均との比較【 $x$ をT得点での差(点)とする。】

◎上回っている ( $x \geq 3$  点)      ○やや上回っている ( $0.3 \text{ 点} \leq x < 3 \text{ 点}$ )  
 -同じ ( $-0.3 \text{ 点} < x < +0.3 \text{ 点}$ )      ▽やや下回っている ( $-3 \text{ 点} < x \leq -0.3$ )      ▼下回っている ( $x \leq -3 \text{ 点}$ )

	握力 (kg)	T得点	上体起こし (回)	T得点	長座体前屈 (cm)	T得点	反復横とび (回)	T得点	20mシャトルラン (回)	T得点	50m走 (秒)	T得点	立ち幅とび (cm)	T得点	ボール投げ (m)	T得点	体力合計点 (点)	
小5男子	H29	▽	48.4	-	49.9	▼	44.9	○	51.3	○	50.7	▽	47.9	▽	49.4	-	49.9	▽
	H30	▽	48.2	▽	48.8	▼	46.4	○	51.6	○	50.5	○	50.4	○	50.9	-	50.2	▽
	R01	▽	47.9	-	49.9	▽	48.6	○	50.6	▽	49.2	▼	46.1	-	49.9	▽	47.9	▽
	R03	▽	48.5	▽	49.7	▼	46.7	○	51.5	-	50.2	▽	49.7	○	50.7	-	50.1	▽
	R04	▽	47.6	○	51.5	▽	48.1	○	52.4	○	51.0	-	49.8	-	50.0	▽	48.7	○
	R05	▽	48.4	-	49.9	▽	48.9	○	51.4	○	52.0	○	50.6	○	51.1	○	51.0	○
R06	▽	49.4	○	50.9	▼	46.6	◎	53.2	○	50.6	▽	49.7	▽	49.5	○	50.7	-	
中2男子	H29	○	50.3	▽	49.2	◎	53.7	○	52.3	-	49.8	○	51.4	○	50.7	-	50.1	○
	H30	-	49.8	-	49.9	-	50.1	○	50.6	○	51.0	○	51.1	○	50.7	-	50.0	○
	R01	▽	48.5	▽	49.0	▽	48.7	○	51.4	-	50.0	▽	49.4	▽	48.9	▽	49.5	▽
	R03	○	51.0	○	50.5	○	52.8	○	52.8	○	51.6	○	51.1	○	51.6	○	52.7	◎
	R04	○	51.5	-	50.0	◎	53.2	○	51.1	▽	49.6	▽	49.3	-	50.0	▽	49.3	○
	R05	○	51.8	○	51.0	◎	53.2	◎	54.5	○	51.0	-	50.1	○	51.3	○	52.7	◎
R06	○	50.5	-	49.8	○	50.3	○	52.3	○	50.6	▽	49.1	○	51.2	-	50.1	○	
小5女子	H29	▽	49.5	-	49.8	▽	47.5	○	52.9	○	51.9	-	50.1	○	52.6	▽	49.3	○
	H30	▽	48.7	-	50.1	▽	48.4	○	52.8	○	51.4	○	51.8	○	52.4	▽	49.3	○
	R01	▽	49.0	○	51.6	-	50.2	○	52.2	○	51.3	▽	47.6	○	51.8	▽	49.4	○
	R03	-	50.0	▽	49.3	▼	45.4	○	52.1	○	51.5	-	49.9	○	52.8	○	51.2	▽
	R04	▽	47.9	○	51.6	▽	49.7	◎	54.0	○	52.9	○	50.9	○	52.3	○	50.7	○
	R05	▽	49.6	○	50.3	○	50.8	○	51.7	○	52.8	○	50.6	○	50.5	○	52.4	○
R06	▽	49.6	○	50.4	▽	48.3	◎	53.3	○	52.4	○	51.2	○	50.6	▽	49.6	○	
中2女子	H29	▽	49.6	▼	46.6	○	51.3	-	50.2	-	50.1	○	50.8	▽	49.5	▽	49.2	▽
	H30	○	50.3	▽	48.5	○	51.7	-	49.8	○	50.9	○	50.6	○	50.8	○	50.8	○
	R01	▽	48.4	▽	48.9	▽	49.5	○	51.2	-	50.1	▽	49.6	▽	49.7	▽	48.5	▽
	R03	○	51.1	○	51.8	◎	54.4	◎	53.4	○	50.9	▽	47.3	○	52.7	○	50.8	◎
	R04	○	51.9	○	52.8	◎	54.7	◎	55.2	○	52.9	○	51.1	○	52.9	○	52.8	◎
	R05	○	52.6	○	52.1	◎	54.4	◎	53.9	○	52.3	○	52.2	◎	53.5	◎	53.7	◎
R06	○	51.8	-	50.1	○	52.1	◎	53.6	○	52.6	○	51.3	○	52.6	◎	53.3	◎	

\* T得点での差(点)で比較している。

\* T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。全国平均値を50点とする。

ア 男子の調査結果について

- ・体力合計点は、小学5年生、中学2年生ともに全国平均を上回った。
- ・小学5年生では、「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「ボール投げ」が全国平均を上回る結果となった。「握力」「長座体前屈」はともに昨年度に引き続き課題となっている。
- ・中学2年生は、「上体起こし」「50m走」を除き、全国平均を上回った。「反復横とび」「立ち幅とび」は全国平均を上回っている。

イ 女子の調査結果について

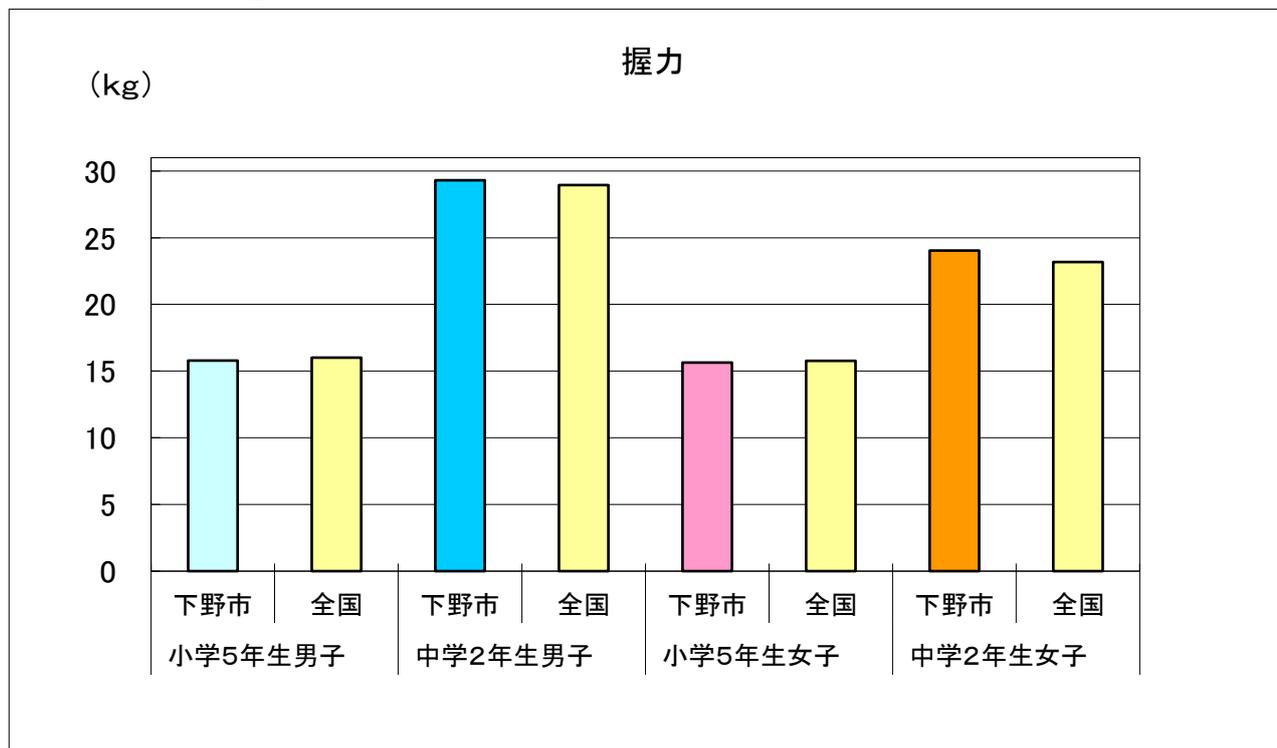
- ・体力合計点は、小学5年生、中学2年生ともに全国平均を上回った。特に、中学2年生は全国平均を大きく上回った。
- ・小学5年生では、「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」が全国平均を上回る結果となった。「握力」は昨年度に引き続き課題となっている。
- ・中学2年生は、全ての種目において全国平均を上回った。「体力合計点」「反復横とび」「ボール投げ」は全国平均を大きく上回っている。

ウ 男女共通して見られる特徴について

- ・「反復横とび」「20mシャトルラン」は、全国平均と比較してよい結果が見られた。
- ・小学5年生では、「握力」「長座体前屈」に課題が見られた。

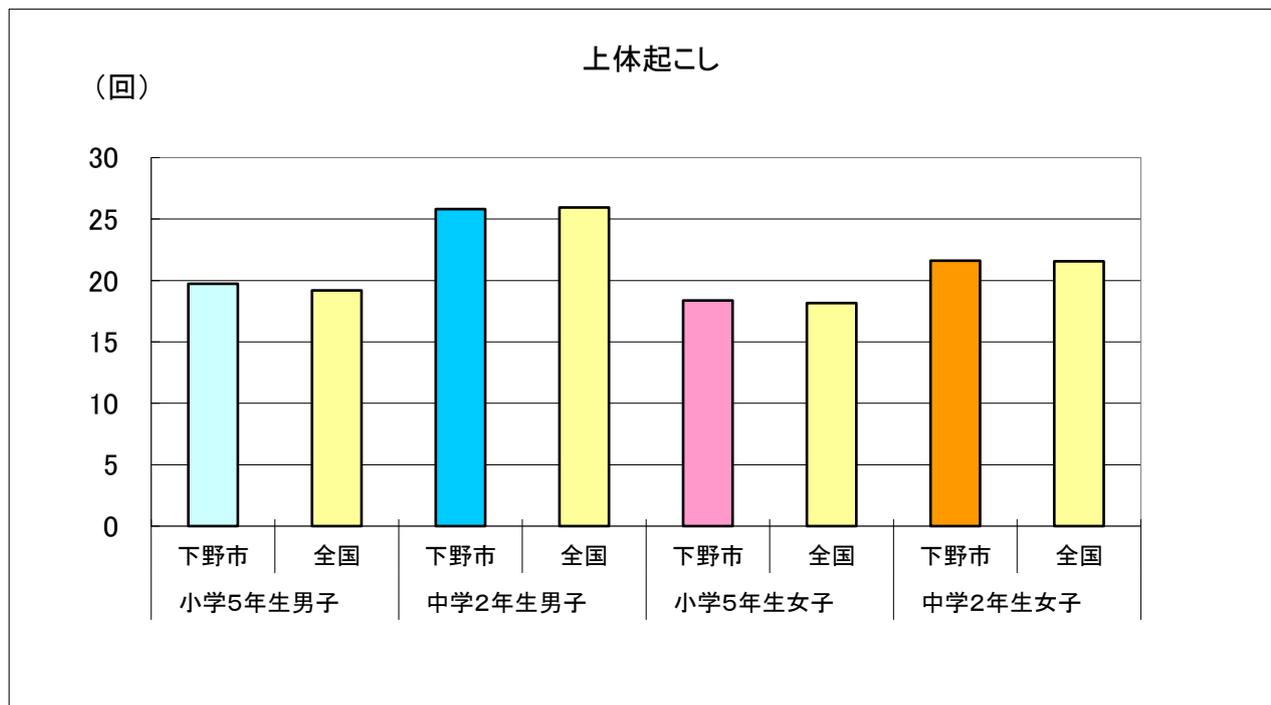
(2) 全国平均との比較から見える令和6年度の調査結果（各種目）

ア 握力 (kg)



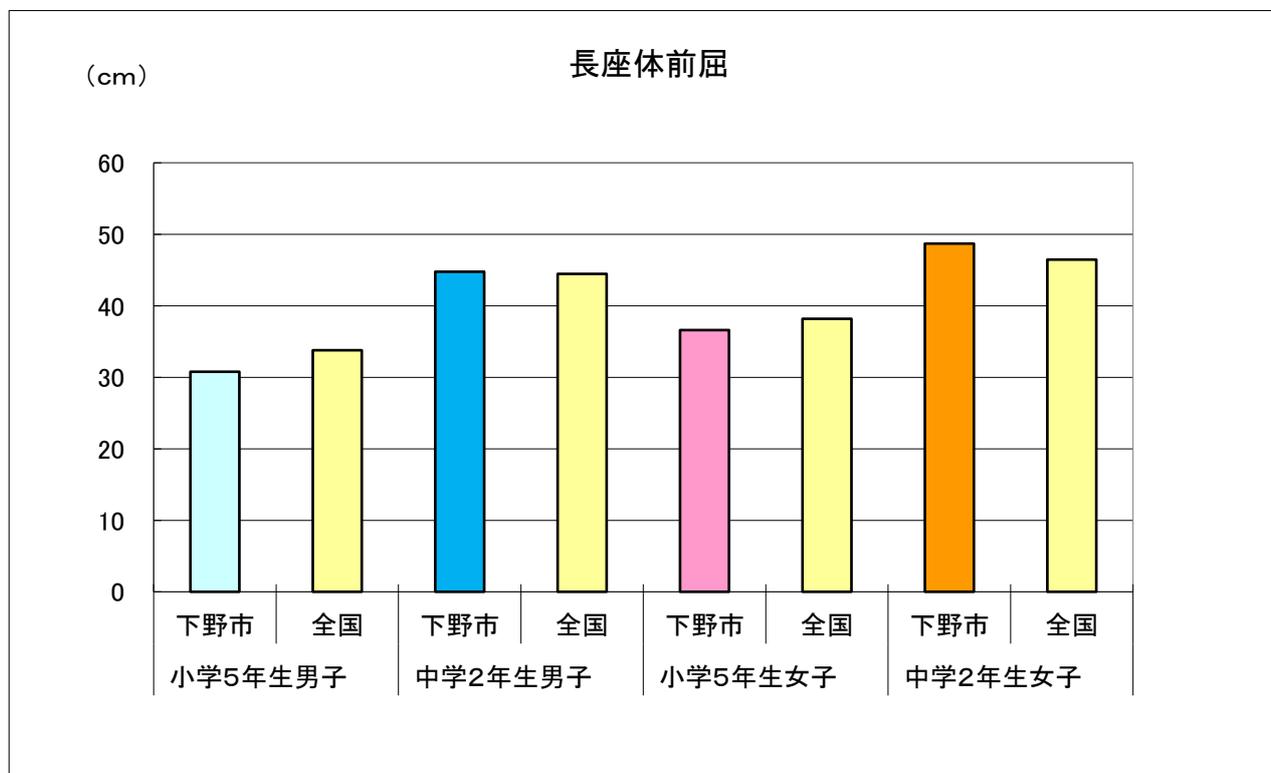
- ・小学5年生では、男女ともに全国平均と同程度であった。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

## イ 上体起こし (回)



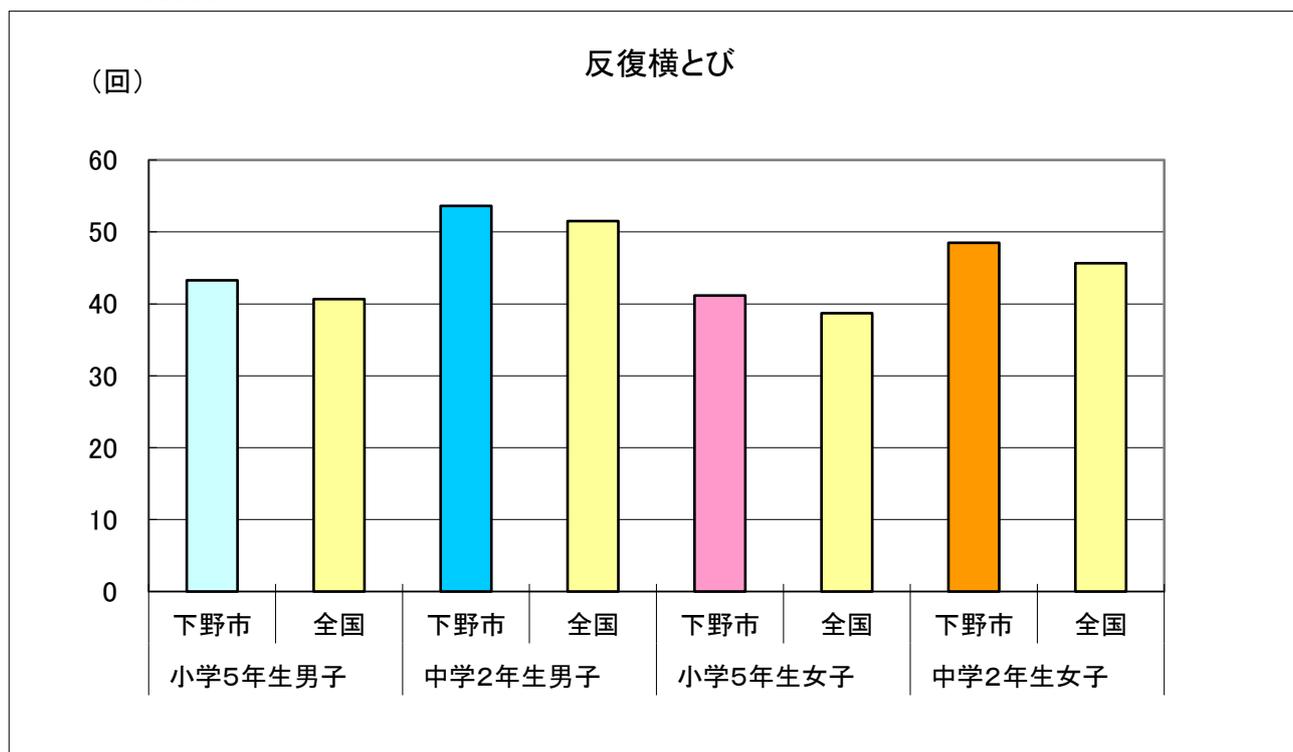
- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を上回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均と同程度であった。

## ウ 長座体前屈 (回)



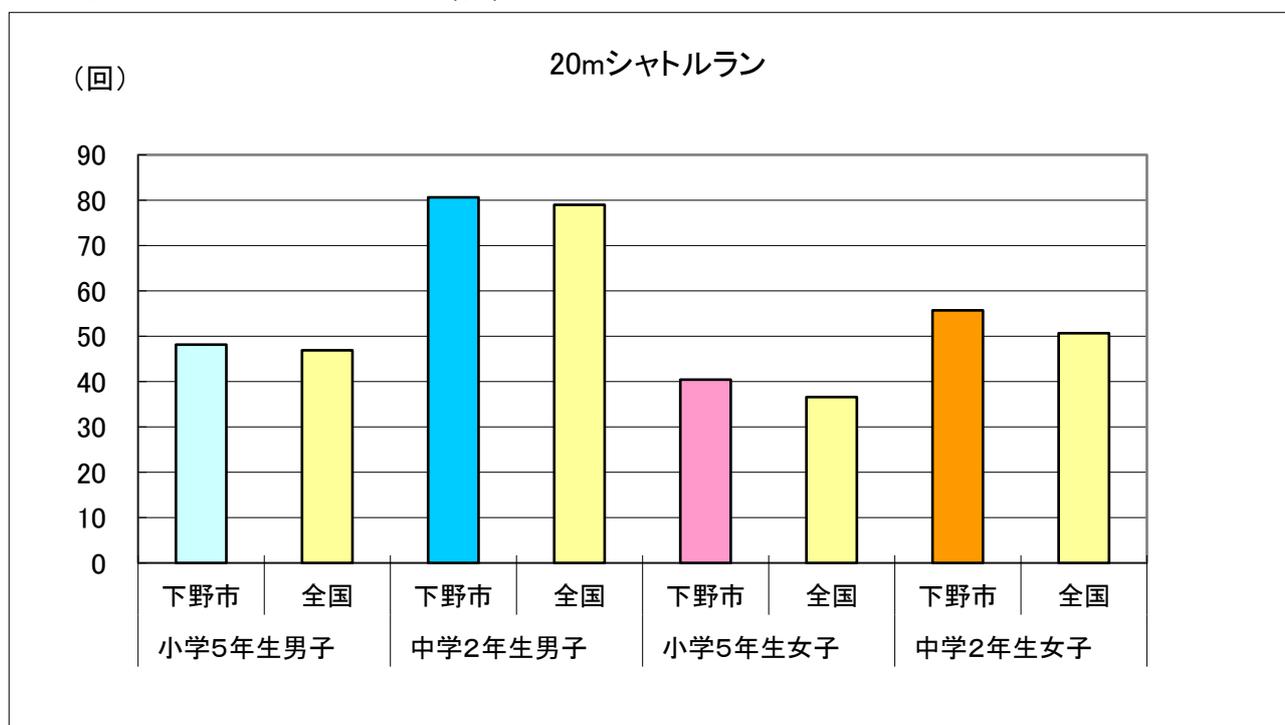
- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。特に女子は大きく上回った。

## エ 反復横とび (回)



- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を大きく上回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を大きく上回った。

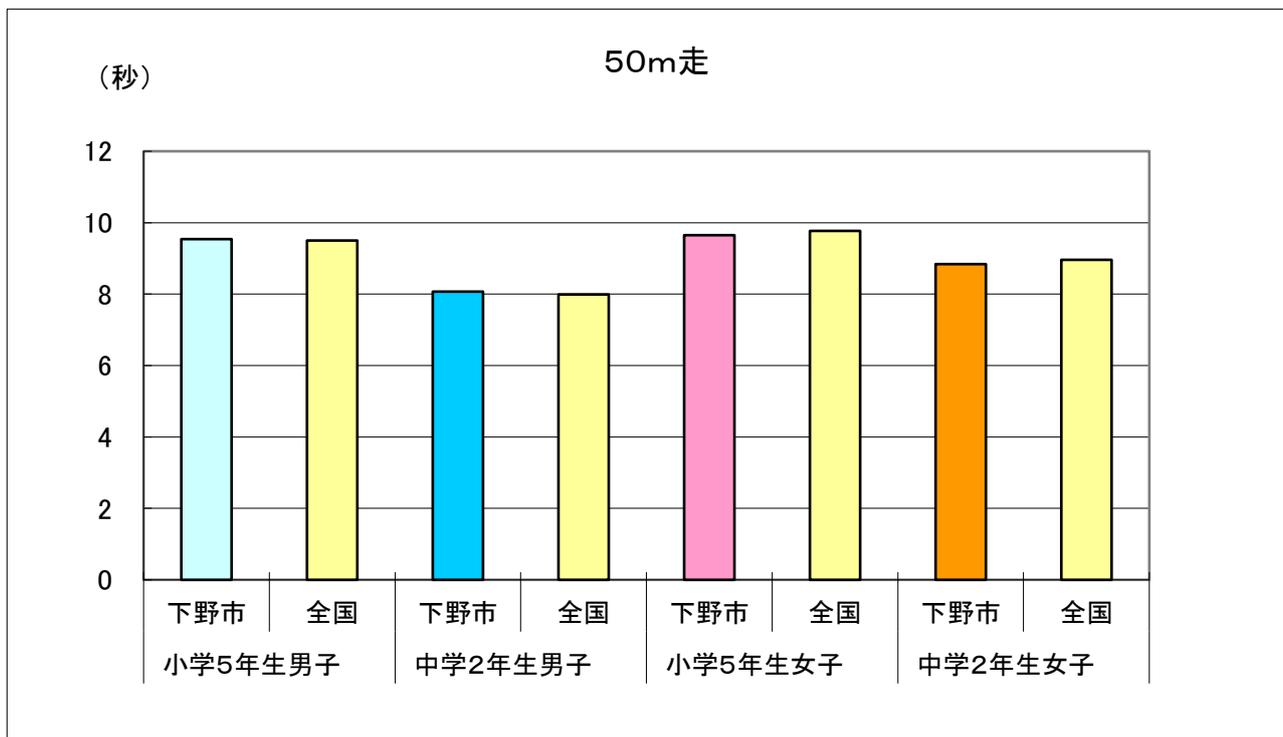
## オ 20mシャトルラン (回)



- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を上回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

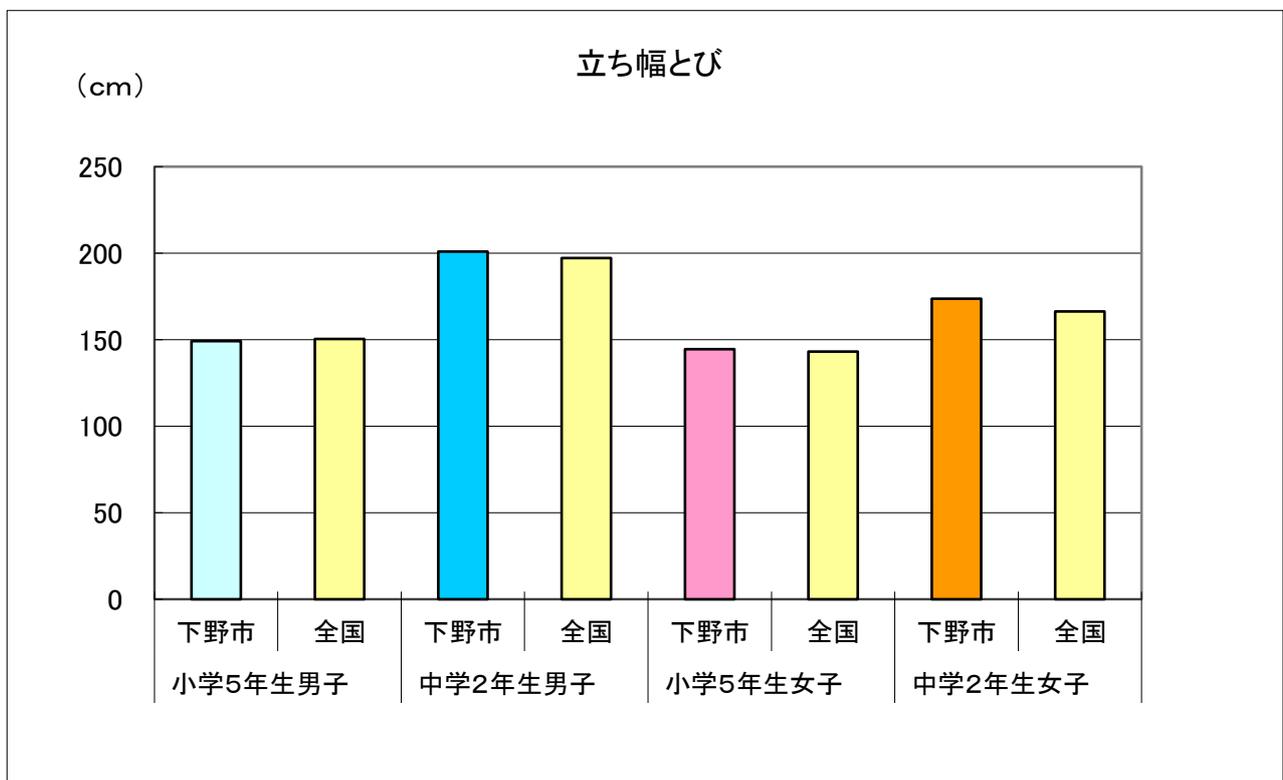
カ 50m走 (秒)

※数値が(秒)なので、グラフが低い方が速い。



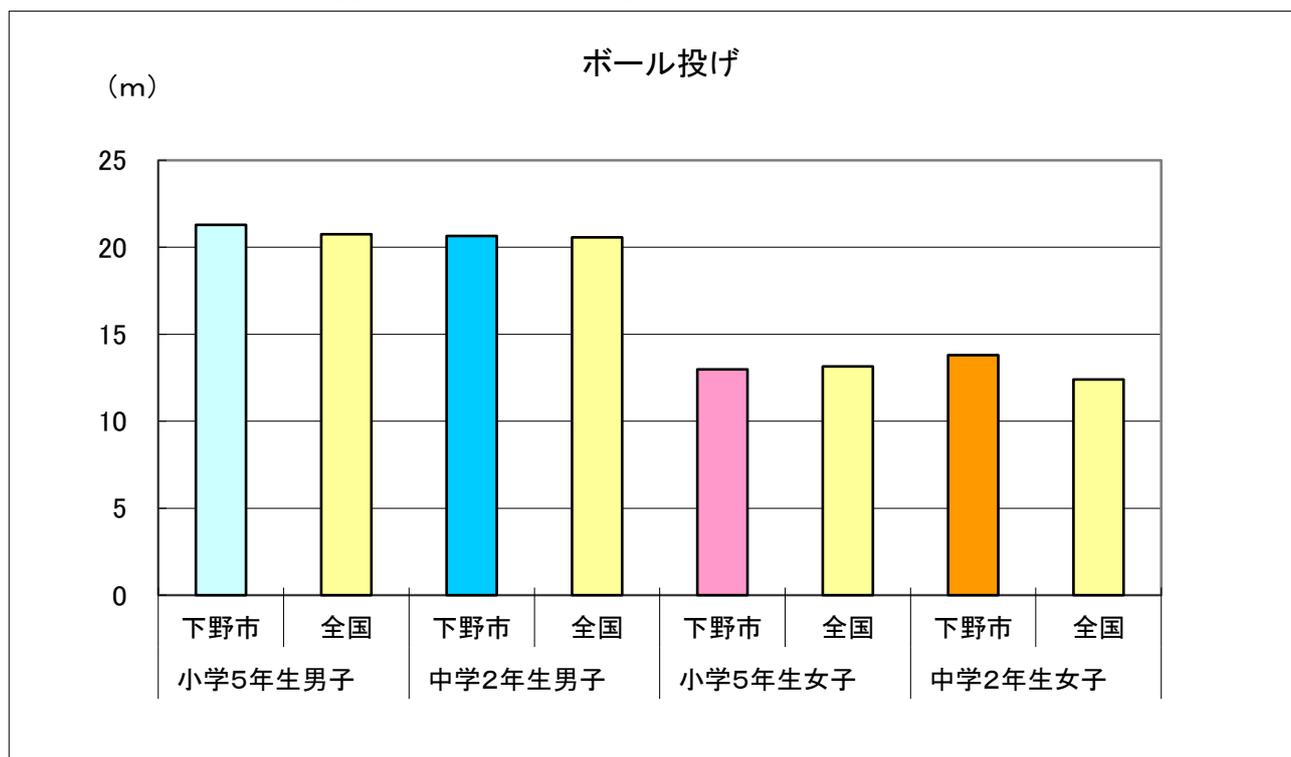
- ・小学5年生では、女子は全国平均を上回っているが、男子は全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、女子は全国平均を上回っているが、男子は全国平均を下回った。

キ 立ち幅とび (cm)



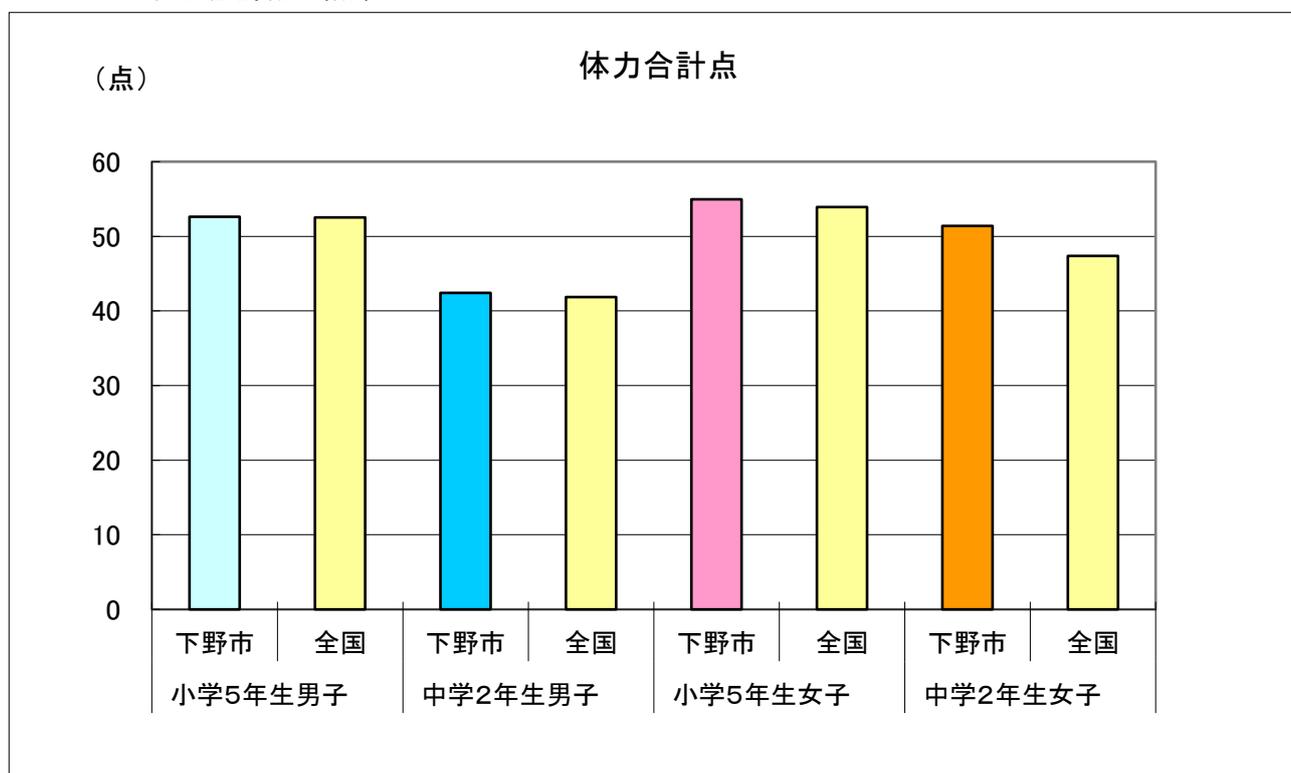
- ・小学5年生では、女子は全国平均を上回っているが、男子は全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。

## ク ソフトボール投げ・ハンドボール投げ



- ・小学5年生では、男子は全国平均を上回っているが、女子は全国平均を下回った。
- ・中学2年生では、男子は全国平均と同程度であるが、女子は大きく上回った。

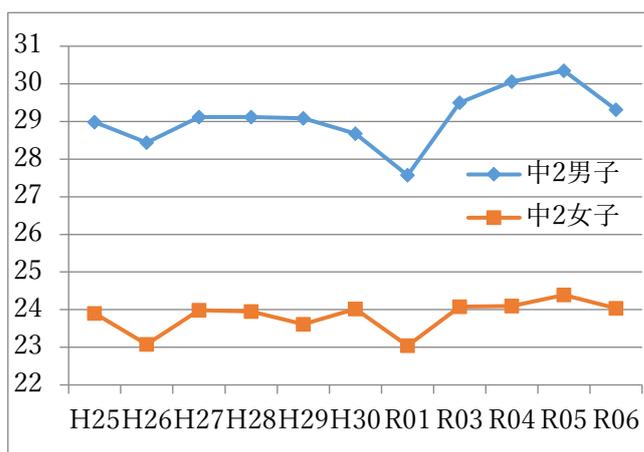
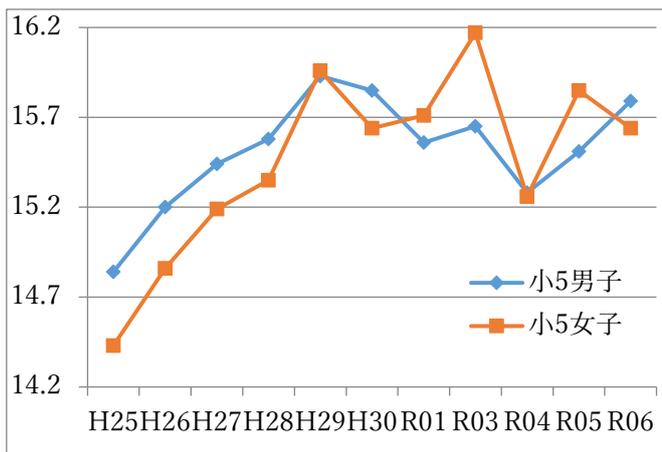
## ケ 体力合計点 (点)



- ・小学5年生では、男女ともに全国平均を上回った。特に女子は上回った
- ・中学2年生では、男女ともに全国平均を上回った。特に女子は大きく上回った。

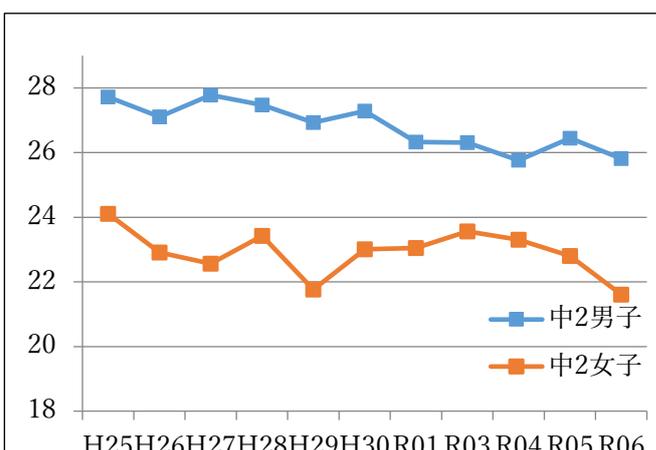
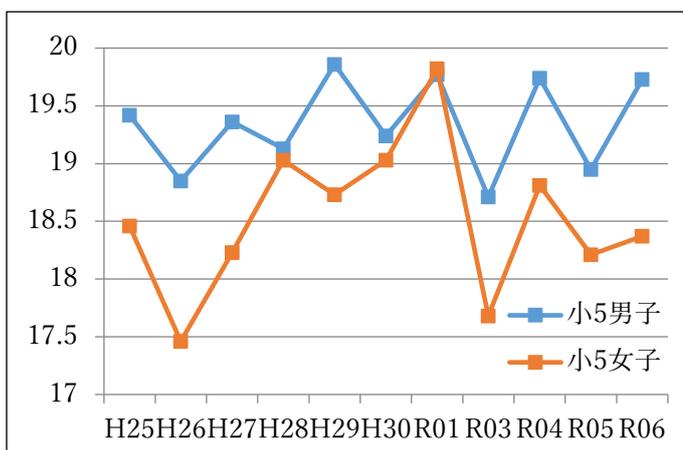
### (3) 記録の推移から見える各種目の傾向

#### ア 握力 (kg)



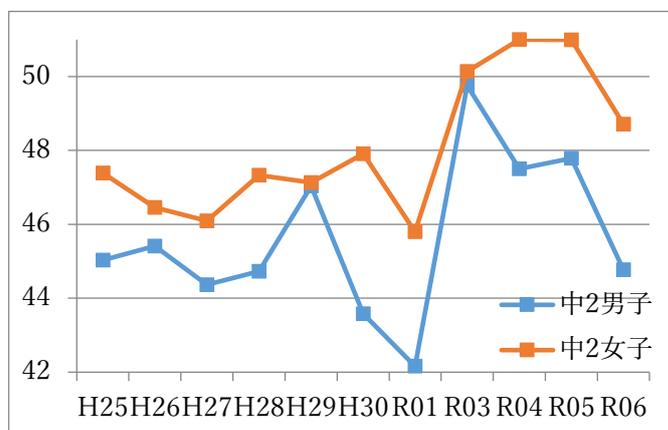
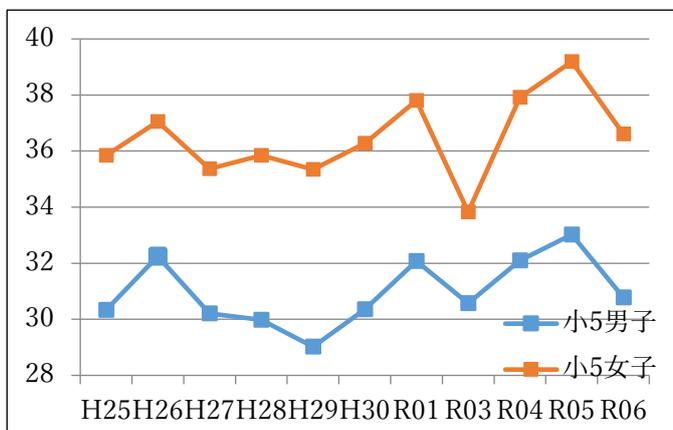
- ・小学5年生は、昨年度より男子は記録が向上し、女子の記録は低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。

#### イ 上体起こし (回)



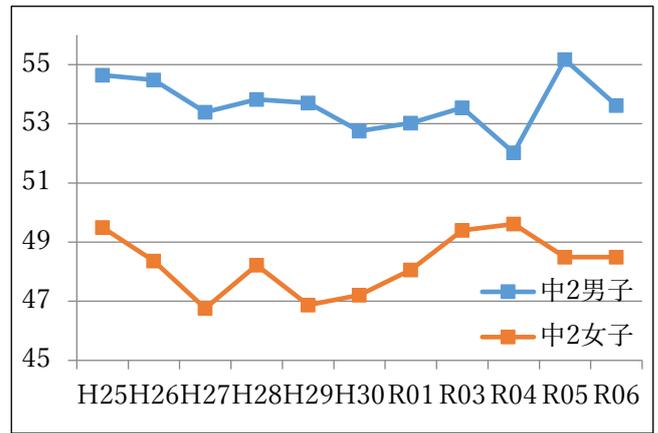
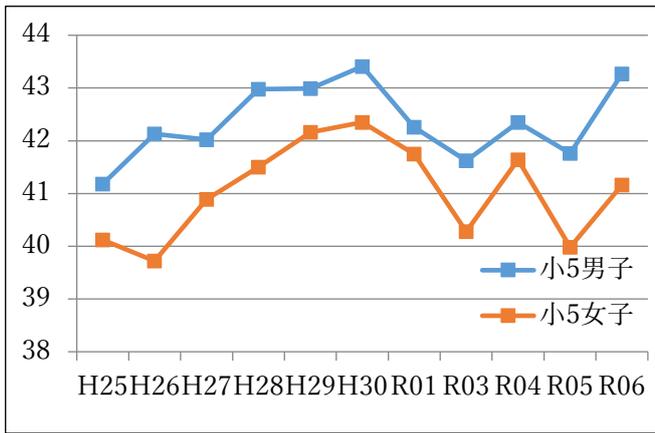
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。

#### ウ 長座体前屈 (cm)



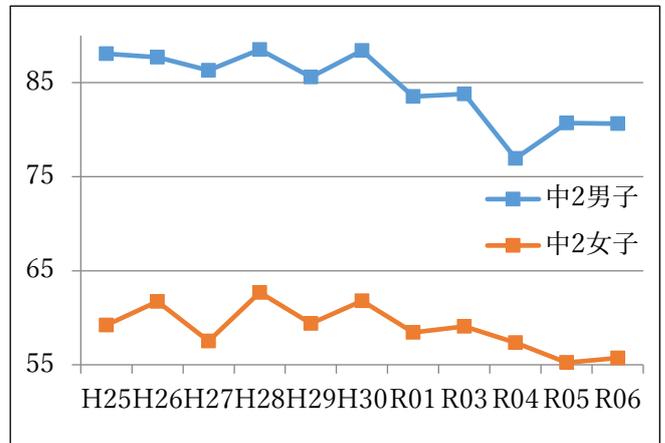
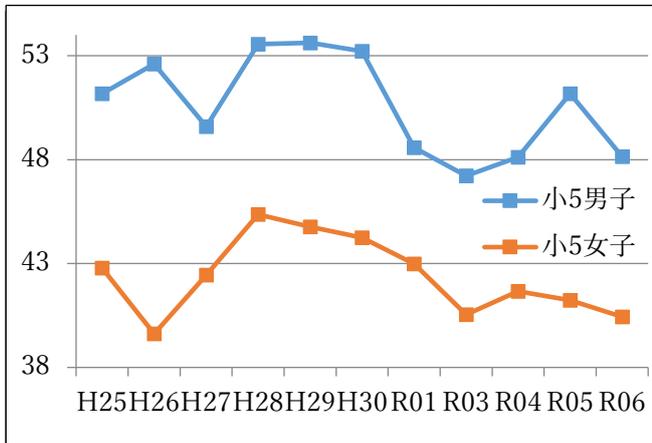
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。

## エ 反復横とび (回)



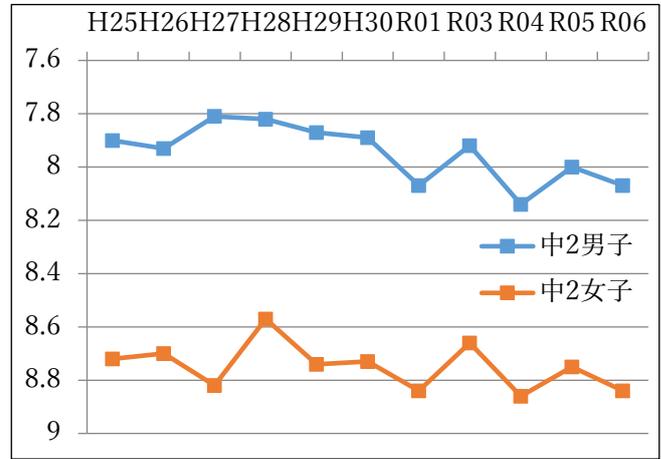
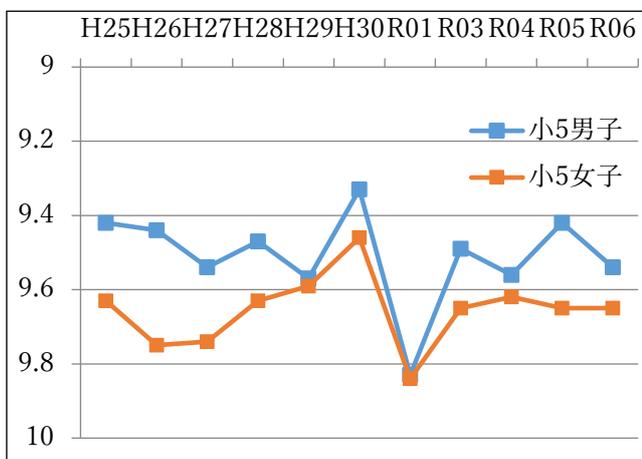
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が向上した。
- ・中学2年生は、昨年度より男子の記録は低下し、女子の記録は昨年度と同程度であった。

## オ 20mシャトルラン (回)



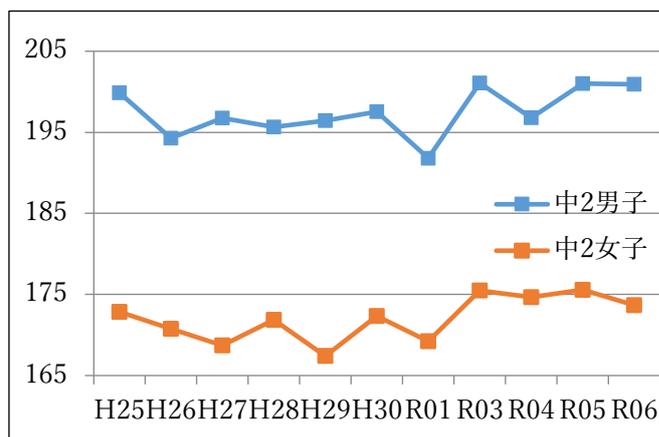
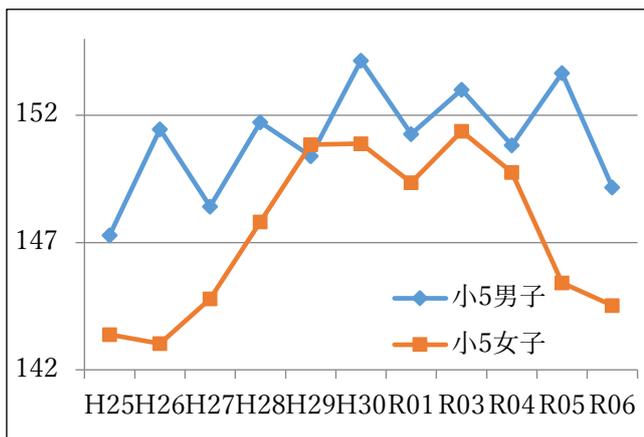
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男子の記録は昨年度と同程度であり、女子の記録は昨年度より向上した。

## カ 50m走 (秒)



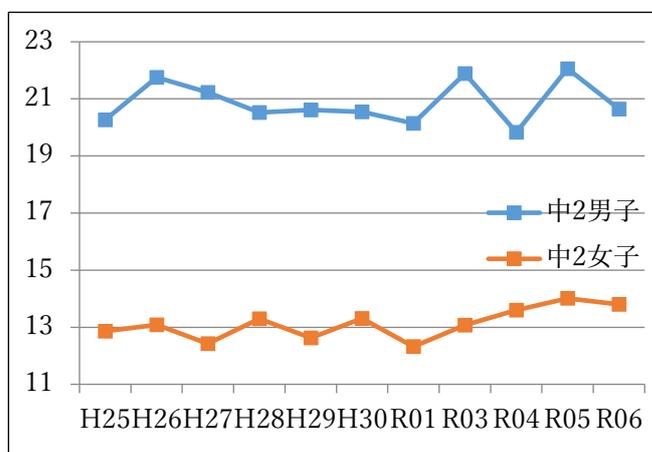
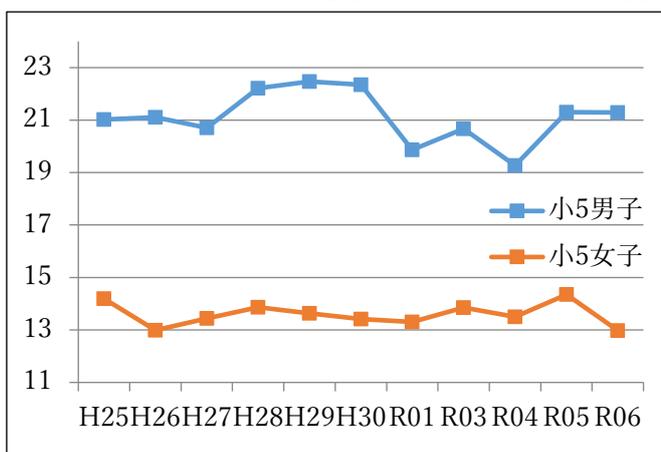
- ・小学5年生は、昨年度より男子の記録は低下し、女子の記録は昨年度と同程度であった。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。

### キ 立ち幅とび (cm)



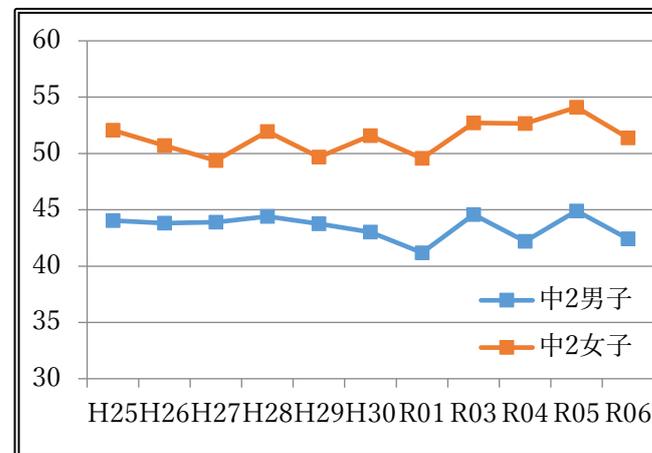
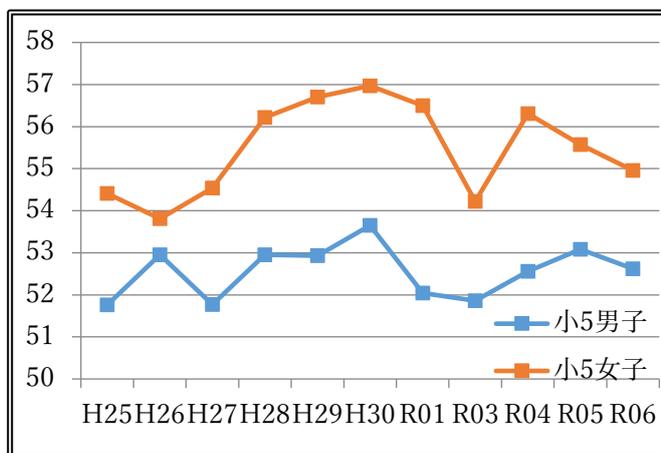
- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録が低下した。
- ・中学2年生は、男子の記録は昨年度と同程度であり、女子の記録は昨年度より低下した。

### ク ソフトボール投げ・ハンドボール投げ (m)



- ・小学5年生は、男子の記録は昨年度と同程度であり、女子の記録は昨年度より低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録は低下した。

### ケ 体力合計点 (点)



- ・小学5年生は、男女ともに昨年度より記録は低下した。
- ・中学2年生は、男女ともに昨年度より記録は低下した。

#### (4) 全国平均との比較結果を利用した、中学2年生 (R6)の小学5年生 (R3)からの

$\chi$ をT得点での差(点)とする。

\* T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。全国平均値を50点とする。

\* T得点での差(点)で比較して、

- ◎上回っている ( $\chi \geq 3$  点)      ○やや上回っている ( $0.3 \text{ 点} \leq \chi < 3$  点)
- 同じ ( $-0.3 \text{ 点} < \chi < +0.3$  点)      ▽やや下回っている ( $-3 \text{ 点} < \chi \leq -0.3$ )
- ▼下回っている ( $\chi \leq -3$  点)

#### 変化(同一集団の変化)

小学校5年生(R03)~ 中学校2年生(R06) の変化		握力 (kg)	T得点	上体起こし (回)	T得点	長座体 前屈 (cm)	T得点	反復横と び (回)	T得点	20mシャ トルラン (回)	T得点	50m走 (秒)	T得点	立ち幅と び (cm)	T得点	ボール投 げ(m)	T得点	体力合 計点 (点)
中2男子	R03	▽	48.5	▽	49.7	▼	46.7	○	51.5	-	50.2	▽	49.7	○	50.7	-	50.1	▽
	R06	○	50.5	▽	49.8	○	50.3	○	52.3	○	50.6	▽	49.1	○	51.2	-	50.1	○
中2女子	R03	-	50.0	▽	49.3	▼	45.4	○	52.1	○	51.5	-	49.9	○	52.8	○	51.2	▽
	R06	○	51.8	-	50.1	○	52.1	◎	53.6	○	52.6	○	51.3	○	52.6	◎	53.3	◎

- ・男子では、小学5年生時(R3)に全国平均を下回っていた「握力」「長座体前屈」が、中学2年生時(R6)には全国平均を上回った。
- ・男子の「体力合計点」は、小学5年生時(R3)に全国平均を下回っていたが、中学2年生時(R6)には向上し、全国平均を上回った。
- ・女子では、小学5年生時(R3)に全校平均と同程度か下回っていた「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」が、中学2年生時(R6)には全国平均を上回った。
- ・女子の「体力合計点」は、小学5年生時(R3)に全国平均を下回っていたが、中学2年生時(R6)には向上し、全国平均を大きく上回った。

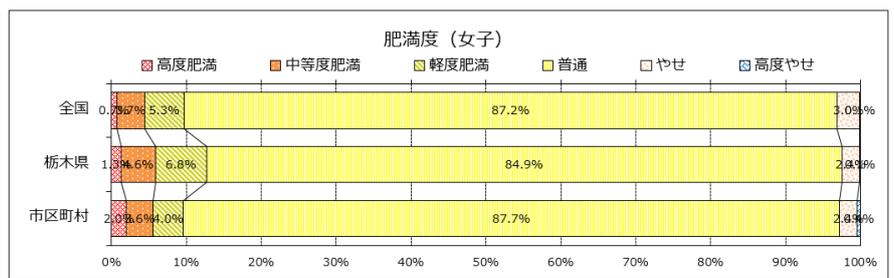
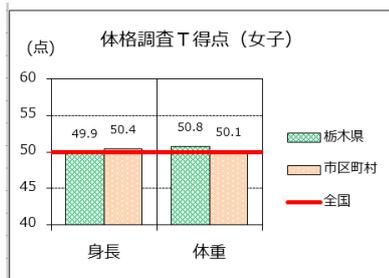
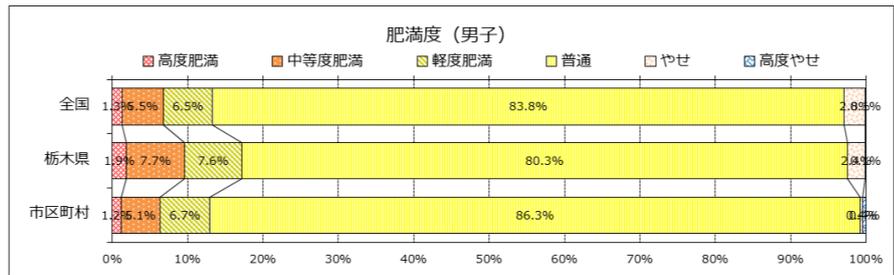
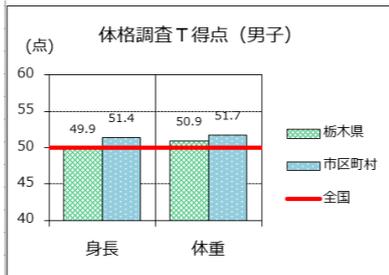
#### (5) 総括

小・中学校では男女ともに「体力合計点」が全国平均を上回り、全体的にはよい結果となっている。種目別では、「反復横とび(敏捷性)」「20mシャトルラン(全身持久力)」が下野市の児童生徒にとって得意種目となっている。小学校では「握力(筋力)」と「長座体前屈(柔軟性)」に課題が見られるが、中学校では全国平均を上回る種目となっている。

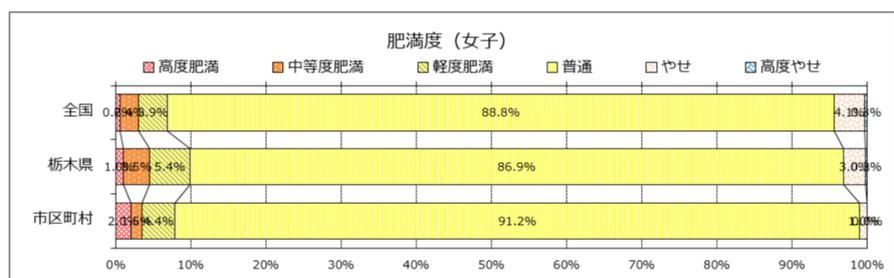
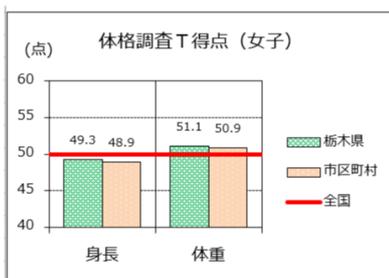
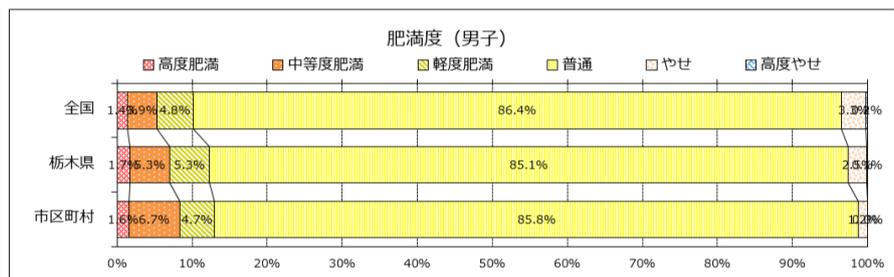
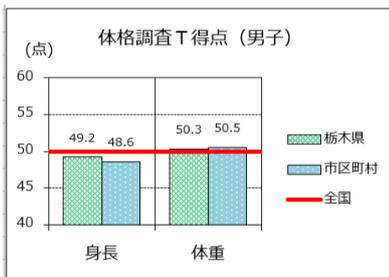
経年変化で見ると、小・中学校の男女ともに昨年度と比べ、全体的に低下傾向が見られるが、それでも全国平均を上回っている現状である。

今回の調査から、下野市では「筋力」「柔軟性」に課題が見られた。教科体育において「筋力」「柔軟性」に関わる活動時だけでなく、それらを高める動きを準備運動に取り入れたり、業間運動等での取組を工夫したりするなど、意図的、計画的に指導することが大切である。また、中学校で向上する種目が多いことから、中学校における教科体育での取組を検証し、小学校の授業等に取り入れるなど、小中一貫教育の視点からの改善や見直しも必要である。

### 3 体格調査結果について(グラフの「市区町村」が下野市を表す) (小学5年生)



### (中学2年生)



- ・小学5年生は、男子の身長と体重ともに全国平均を上回っている。女子の身長・体重は全国平均とほぼ同じであった。
- ・中学2年生は、男女ともに体重は全国平均と同程度であるが、身長は全国平均を下回った。

#### 4 運動習慣等調査結果について

		Q1.運動が好き				
		標本数	1好き	2やや好き	3やや嫌い	4嫌い
小学校 5年男子	全国	490,017	73.0%	20.2%	4.5%	2.2%
	下野市	257	64.2%	28.0%	5.4%	2.3%
小学校 5年女子	全国	471,369	54.8%	31.4%	9.5%	4.3%
	下野市	253	54.5%	30.8%	11.1%	3.6%
中学校 2年男子	全国	414,186	65.5%	25.1%	6.3%	3.2%
	下野市	268	60.4%	29.9%	7.1%	2.6%
中学校 2年女子	全国	394,041	43.2%	33.7%	15.2%	8.0%
	下野市	212	44.3%	31.6%	13.7%	10.4%

運動が「好き」「やや好き」という肯定的な割合は、小・中学生の男女ともに全国平均と同程度であった。中学2年生女子において運動が「嫌い」という回答の割合が、全国平均を上回っている点が課題である。

		Q2.運動は大切				
		標本数	1大切	2やや大切	3あまり大切ではない	4大切ではない
小学校 5年男子	全国	489,640	71.6%	22.2%	4.9%	1.3%
	下野市	257	71.2%	23.0%	4.3%	1.6%
小学校 5年女子	全国	470,957	59.0%	31.4%	8.0%	1.6%
	下野市	253	64.0%	24.5%	9.5%	2.0%
中学校 2年男子	全国	413,832	68.2%	24.7%	5.5%	1.6%
	下野市	268	71.6%	22.4%	4.5%	1.5%
中学校 2年女子	全国	393,792	49.3%	36.2%	11.8%	2.7%
	下野市	212	47.6%	36.8%	12.7%	2.8%

運動は「大切」「やや大切」と肯定的な回答をした割合は、小・中学生の男子において全国平均を上回った。小・中学校女子において、運動は「大切ではない」という回答の割合が、全国平均を上回っている点が課題である。

		Q9.体育の授業は楽しい ※中学校は保健体育の授業				
		標本数	1楽しい	2やや楽しい	3あまり楽しくない	4楽しくない
小学校 5年男子	全国	483,756	75.0%	19.7%	3.7%	1.7%
	下野市	255	73.3%	20.8%	4.3%	1.6%
小学校 5年女子	全国	467,792	59.5%	30.5%	7.4%	2.6%
	下野市	248	63.3%	28.2%	6.0%	2.4%
中学校 2年男子	全国	386,160	57.4%	34.3%	5.9%	2.4%
	下野市	241	66.8%	28.2%	4.1%	0.8%
中学校 2年女子	全国	376,918	39.5%	44.3%	12.4%	3.8%
	下野市	200	49.5%	35.0%	12.0%	3.5%

体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と肯定的な回答をした割合は、小学5年生女子、中学2年生男女で全国平均を上回った。児童生徒の実態に沿った授業を展開していただいていることがうかがえる。

		Q11.体育の授業で、進んで学習に参加している ※中学校は保健体育の授業				
		標本数	1いつも進んで学習している	2だいたい進んで学習している	3あまり進んで学習していない	4進んで学習することはない
小学校 5年男子	全国	484,858	63.2%	30.5%	5.1%	1.2%
	下野市	257	64.6%	31.5%	3.5%	0.4%
小学校 5年女子	全国	467,957	54.7%	37.3%	6.7%	1.3%
	下野市	252	62.3%	32.5%	4.8%	0.4%
中学校 2年男子	全国	412,521	48.2%	43.4%	7.0%	1.3%
	下野市	267	49.8%	44.2%	4.9%	1.1%
中学校 2年女子	全国	392,893	39.3%	49.7%	9.6%	1.4%
	下野市	209	44.5%	44.5%	9.6%	1.4%

(保健)体育の授業で進んで学習に参加しているかという問いに対して「いつも進んで学習している」「だいたい進んで学習している」と肯定的な回答をした割合は、小学5年生男女と中学2年生男子で全国平均を上回った。意欲的に体育の授業に参加する児童生徒が多い。

		Q6.朝食を食べる				
		標本数	1.毎日食べる	2.食べない日もある	3.食べない日が多い	4.食べない
小学校 5年男子	全国	488,907	81.3%	14.6%	3.0%	1.1%
	下野市	257	86.0%	10.1%	2.3%	1.6%
小学校 5年女子	全国	470,673	79.5%	16.7%	3.0%	0.8%
	下野市	252	86.1%	10.3%	3.2%	0.4%
中学校 2年男子	全国	413,406	81.6%	12.3%	3.9%	2.1%
	下野市	267	87.3%	9.0%	3.0%	0.7%
中学校 2年女子	全国	393,605	74.4%	18.8%	4.8%	2.0%
	下野市	211	83.4%	11.8%	3.8%	0.9%

朝食を食べているかという問いに対して、「毎日食べる」と回答をした割合は、小・中学生の男女ともに大きく上回った。市・学校による呼びかけや家庭の協力により、朝食を食べる習慣が身に付いている。

		Q17.保健を学習して運動しようと思ったか				
		標本数	1.思うようになった	2.やや思うようになった	3.あまり思わなかった	4.思わなかった
小学校 5年男子	全国	486,233	45.2%	37.9%	12.5%	4.3%
	下野市	257	50.6%	34.6%	10.5%	4.3%
小学校 5年女子	全国	468,967	40.7%	42.5%	13.3%	3.5%
	下野市	253	48.6%	36.4%	11.9%	3.2%
中学校 2年男子	全国	410,428	36.0%	42.0%	17.4%	4.7%
	下野市	264	38.6%	35.6%	20.8%	4.9%
中学校 2年女子	全国	391,235	25.1%	45.1%	23.7%	6.0%
	下野市	210	27.6%	45.7%	21.4%	5.2%

保健を学習して運動しようと思ったかという問いに対して「思うようになった」「やや思うようになった」と肯定的に捉えている割合は、小学5年生男女、中学2年生女子で全国平均を上回った。保健の学習と運動を関連付けて考えることができている。

- ・「運動が好き」「運動は大切」「(保健) 体育の授業は楽しい」の項目において、下野市は全国平均と比較すると、肯定的な回答の割合が高い。今後も学校の実態や児童生徒の特性に応じて、児童生徒が楽しく取り組むことができる活動の工夫を継続していくことが大切である。
- ・「体育の授業で、進んで学習に参加している」の項目において肯定的な回答をした割合は、小学5年生の男女、中学2年生の男子で全国平均を上回った。日頃から、教師が児童生徒の興味関心に沿った活動、技能の習得、児童生徒が自らの成果を感じることができるような授業を展開していただいている成果と考える。教師や友達相互による称賛、学習カードやタブレット端末の活用による学びの蓄積等により、児童生徒が自らの成長を感じることができる授業を継続することで、さらに運動の楽しさや大切さを実感することにつながっていくことが大切である。
- ・「保健を学習して運動しようと思ったか」という問いに対し、肯定的に捉えている割合は、小学5年生男女、中学2年生女子において全国平均を上回った。体育・保健体育の授業の中で保健領域(保健分野)の学習と、運動領域(体育分野)の学習内容とを関連付けて指導することで、運動やスポーツを通じた健康の保持増進についての理解が深まり、実生活に生かしやすくなると考えられる。運動の楽しさを味わわせることに加え、運動することの意義についても考える指導を行っていくことが大切である。